

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会事務局  
〒545 大阪市阿倍野区旭町1-4-54  
大阪市立大学医学部環境衛生学教室内  
TEL 06-645-2056  
発行責任者 堀 口 俊 一

## 日本産業衛生学会近畿地方会 第38回 総会ご案内

日本産業衛生学会近畿地方会  
会長 三 浦 武 夫

今年の地方会総会は下記の通り開催されます。会員各位の多数の御参加をお待ちしております。

日時：平成2(1990)年5月18日(金)

午後1時～4時45分

場所：大阪府立労働センター 5階 視聴覚室

〒540 大阪府中央区北浜東3番14号

☎ 06-942-0001

地下鉄谷町線、京阪電鉄 天満橋下車  
西400メートル

### 日本産業衛生学会近畿地方会評議員会ご案内

日時：平成2(1990)年5月18日(金)

11時30分～12時30分

場所：大阪府立労働センター 5階 視聴覚室

評議員会の出欠は同封のはがきで4月30日までに願います。

昼食は事務局で用意します。なお、本年度から理事会の申し合わせにより弁当代として一人500円を負担していただくことになりましたので当日お支払い下さい。

## 総会プログラム

### 1. 総会議事 午後1時～1時30分

- 1) 平成元(1989)年度事業および会計報告
- 2) 平成2(1990)年度事業予定および予算
- 3) その他

### 2. 特別講演 午後1時30分～2時30分

わが国における最近の労働時間問題

司会 関西医科大学 原 一郎

大阪市立大学名誉教授 本多 淳 亮  
大阪経済法科大学教授

### 3. フォーラム 午後2時45分～4時45分

安衛法改正後の健康診断

司会 松下産業衛生科学センター 藤木幸男

事業場の場合

大阪ガス健康開発センター 岡田邦夫

健診機関の場合

大野記念病院産業医学予防健診センター  
中野碩夫

事業場の場合(保健婦の立場から)

ダイハツ健康保健組合 岡田治子

## <研究会のお知らせ>

### 平成2年度第1回 産業看護研究会

日時：平成2(1990)年7月28日(土)

場所：コミュニティプラザ大阪 5F 会議室(鶴)

大阪市福島区福島3-1-73

JR福島下車徒歩南へ10分

☎ 06-454-1153

テーマ：産業看護の定義・産業看護職の役割について  
— 日常業務に立脚して活動を考える — Part II

連絡先：〒537 大阪市東成区中道1-3-3

大阪府立成人病センター 集団検診第1部

上田美代子

(お問い合わせは文書でお願いします)

### 中小企業衛生問題研究会・第24回全国集会

日時：平成3(1991)年2月9日(土) 10時～17時

場所：京都工場保健会・宮木ホール

一般演題を募集しています。

報告者氏名、所属、演題名を記入して1990年7月31日までに下記にお送り下さい。多数のご参加を期待します。

送り先：〒604 京都市中京区北壺井町87

京都工場保健会 田中健一宛

開催世話人：田中健一(京都工場保健会)

☎ 075-802-0131

FAX 075-802-0129

水野洋(大阪府勤労者健康サービスセンター)

## 〈産衛学会からのお知らせ〉

### 第2回 産業神経・行動学研究会

日時：平成2(1990)年7月14日(土)・15日(日)

場所：石川県職員会館

連絡先：金沢大学医学部衛生学教室 橋本和夫

## 〈関連学会等のご案内〉

### 第17回 日本毒科学学会学術年会

日時：平成2(1990)年6月13日(水)・14日(木)

場所：ホテル キャッスルプラザ

〒450 名古屋市市中村区名駅4丁目3番25号

特別講演：Gamma-Aminobutyric Acid in Neurotoxicology

Professor & Chairman, I.K. Ho (ミシシッピー大)

シンポジウム：行動毒性

ワークショップ(1)：薬物アレルギー

ワークショップ(2)：新しい毒性試験法へのアプローチ：  
in vivo と in vitro 試験法の接点

## 平成2～4年度 日本産業衛生学会近畿地方会役員

会長 三浦武夫 副会長 堀口俊一  
理事 原一郎, 堀口俊一, 原田 章, 藤本幸雄,  
福原一彦

監査 菰池義彦, 阿部源三郎  
評議員 110名

## 新しく理事に就任された藤本, 福原両先生のご挨拶

松下産業衛生科学センター  
所長 藤本 幸雄



昭和36年に京都府立医大を卒業し、昭和42年に、松下電器健康保険組合に入社した。この年に、松下健保の信条が作成されました。この信条は、3項目からなりたっていますが、その第1項目をここに紹介します。

1. 健康は社会生活のすべての根源にして、人生究極の幸せもまた健康にあり、われら人みな健康を高め生命に奉仕することを名誉とし使命として邁進する。

小生はこの信条第1項が好きである。とくにこの後半の“人みな健康を高め、…”の部分なんとなく素晴らしい。健康人も病人にも健康を高めたい、回復したい、少なくとも精神的に社会的に健康でありたいという希望はある。

身の傷、心の傷をなめ合い、また、いたわりあえる人間として成長したいと願望している人間です。

今回、くしくも理事に当選してしまいました。未熟者です。皆さんの意を汲み、中央に反映できますよう努力していくつもりです。当分の間はやさしく御指導下さいますようお願い致します。

川崎重工業(株) 保健部  
福原 一彦



この度、図らずも、みな様方から日本産業衛生学会の理事にご推挙賜わり、大変光栄に思っておりますと共にその職責の重大性を痛感している次第です。

昭和25年に、母校兵庫県立医科大学(現在の神戸大学医学部)の恩師、故松島周蔵教授の衛生学教室助手時代に労働衛生の道に入り、川崎重工でも産業保健活動一筋にやって参り、今年で40年を迎えました。

この間の産業界をとりまく環境の急激な変化には目を見張るものがあります。第3次産業の伸び、コンピュータリゼーションによるOA, FA化, 高度情報化, またバイオ等々の急速な技術革新, 職場環境, 作業態様の変化, 精神的労作, 静的労作の増, 高齢化問題, 国際化現象の進展等々, 一年一昔とたとえられる程, 産業現場は激変しております。

しかし労働衛生の原点である働く人々の生命と健康を守り、労働適応能力の向上をはかっていく労働衛生活動については、一時たりともゆるがせにすることはできません。

今まで色々な方々にお教え願ひ、またお世話になり、良きコーパトナにも恵まれて労働衛生活動が進められて来たのは有難い限りです。今後とも産業保健の道により一層精進していきたいと考えていますので、従前に増してご指導、ご鞭撻、ご支援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

## 第64回 日本産業衛生学会事務局よりお知らせ

第2号のニュースで学会へのご要望、ご提案をお願いいたしましたところ、18件(21名)の貴重なご意見をお寄せ頂きました。ただ今整理中ですが、ご意見はできるだけ学会の企画運営の参考にさせていただきます。ご多忙中にもかかわらずご配慮いただきまして有難うございました。

企画運営委員長 堀口俊一

## 事務局からのお願い

1. 地方会費納入のお願い

1) 地方会費は2,000円です。同封の払い込み用紙で郵便局から払い込んで下さい。

口座番号は大阪0-305488, 加入者名: 日本産業衛生学会近畿地方会。

2) 払い込み人と会員名が異なるときは、必ず通信欄(裏)に会員名をご記入下さい。ご記入のない場合は、送金されましても会員名不記載のため送金された人の会費とはなりませんのでご注意ください。

3) 経費節約のため、領収は郵便局の領収印にてご確認いただき、事務局からの送付は省略させていただきます。

4) 総会当日地方会費を受け付けております(地方会からの領収書を発行しますのでご利用ください)。

2. 事務局へご提案、ご意見、お問い合わせ、連絡等は必ず文書でお願いします。